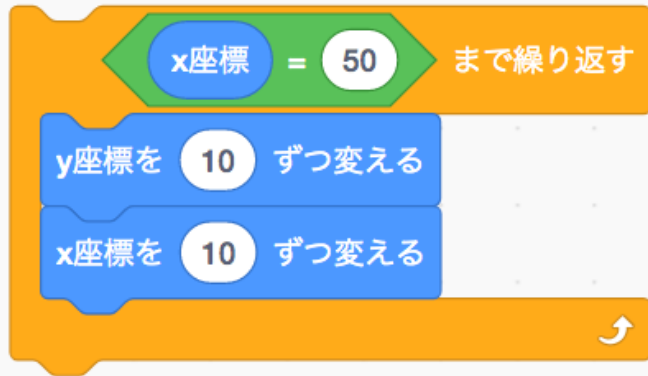








「様々な条件をループに組み込もう！ 2」

◆解答例



◆解説

また、 ブロックは  ブロックなどと組み合わせることで、タイマーだけでなくx座標やy座標を条件として設定することができるようになります。

まず、 ブロックの中に  や  ブロックを入れ、 と組み合わせ「x座標 (y座標) が○までループを繰り返す」プログラムが完成します。

解答例の場合は、x軸が50になるまでx軸とy軸が10ずつ上がっていくプログラムになっています。

スプライトをマイナス方向（左側）に動かした時と、x軸が0の状態から処理を始めた時で、処理回数が変わるのでぜひ確認してみてください。